

～今冬、節電を頑張っている家庭が66.2%～
2023年家庭での節電状況に関する調査結果報告書

株式会社LIXIL住宅研究所では、全国(沖縄を除く)の既婚女性を対象に、今冬の家での節電状況に関する調査を実施しましたのでご報告します。なお、有効回答:556、調査時期:2023年1月27日から1月29日です。

■調査結果の総括

今冬は、政府から家庭における節電の要請があったことから、事前調査の結果、6割以上の方が「節電に取り組んでいる」ことが分かりました。事前調査で節電している方々に現在(23年1月末時点)の節電の取り組み状況を確認したところ、今も頑張っている節電していると回答した方が66.2%になり、節電に対して若干トーンダウンしている傾向があることが判明しました。さらに、今冬の自宅での節電を若干トーンダウン、大幅トーンダウン、節電しなくなった方々に、その理由を複数回答で質問したところ、「寒さを我慢できなかったから」が最も多く59.2%、「思ったほど省エネに結びつかなかった」25.3%となっており、強い寒波の影響などからトーンダウンしてしまったものと推測できます。

さらに、節電の方法としては、最初はエアコンなどの熱源を使用せずに厚着で対応し、それでも厳しくなってきたらエアコンなどの熱源を工夫して使用、さらに寒い場合は、建物の断熱性能を高めて消費電力を減らす、という流れで節電に取り組んでいるものと思われます。またこの結果から、浴室などの服を脱ぐ場面やエアコンなどを使用していないトイレや廊下などでのヒートショックの発生が懸念されます。

当社では、住まいは人の幸せを育む場所であり、危険と隣り合わせではいけないと考えています。太陽光や太陽熱を利用するパッシブデザインや建物の高気密・高断熱は節電効果だけでなく、住む人の健康にも良い影響があることを訴求するとともに、これらの住まいのさらなる普及に努めていきます。

■調査結果の要約

- 今冬、自宅で節電に取り組んだ＝66.6%、取り組まなかった＝24.0%（事前調査から）
- 今冬、節電に取り組んだ方の節電の現状は？

節電に取り組む、今も頑張っている	66.2%
節電に取り組んでいたが、今は若干トーンダウンしている	27.3%
節電に取り組んでいたが、今は大きくトーンダウンしている	2.9%
節電に取り組んでいたが、途中から節電しなくなった	1.1%

- 節電を途中でトーンダウンしたり、節電しなくなった理由BEST5

節電生活していたが、やっぱり寒さを我慢できなかったから	59.2%
節電生活をして思ったほど省エネに結びつかなかった	25.3%
家族全員で節電する必要があるのに協力が得られなかったから	17.8%
節電生活は思った以上に面倒だったから	13.2%
もらえる節電ポイントが少なかったから	11.5%

- 今冬、節電に取り組んだ方の節電対策BEST5

膝掛けや厚手のソックスなどを使用(＝厚着をする)	58.8%
できるかぎり温熱効果の高い下着などを住まいでも着用	47.1%
エアコンの設定温度を低めに	45.5%
家族が集うリビングなどを集中的に暖める	41.9%
部屋全体でなく、ピンポイントで暖める暖房機器(＝こたつなど)を使用	26.6%

報道関係者
お問合せ先

(株)LIXIL 住宅研究所 マーケティング部
千明 和彦(ちぎら かずひこ)
TEL:050-1791-2214 携帯:070-5583-0039
MAIL:kazuhiko.chigira@lixil.com

株式会社 LIXIL 住宅研究所
本社:東京都品川区 代表取締役社長:加嶋 伸彦
事業内容:アイフルホーム、フィアスホーム、GLホーム
国内最大の住宅FCを展開

■調査結果(詳細)

【事前調査】

Q1. 今冬、自宅で節電に取り組みましたか？

	実数	比率
節電に取り組んだ	1469	66.6%
節電に取り組まなかった	530	24.0%
わからない	207	9.4%
計	2,206	100.0%

【調査結果】 Q1で、今冬、自宅で節電に取り組んだ方に質問 (有効回答数:556 サンプル)

Q2. 現在、ご自宅での節電への取り組み状況は？ (SA)

	実数	比率
節電に取り組み、今も頑張ってる節電している	368	66.2%
節電に取り組んでいたが、今は若干トーンダウンしている	152	27.3%
節電に取り組んでいたが、今は大きくトーンダウンしている	16	2.9%
節電に取り組んでいたが、途中から節電しなくなった	6	1.1%
その他	2	0.4%
わからない	12	2.2%
計	556	100.0%

Q3. 節電を途中でトーンダウンしたり、節電しなくなった理由は？ (MA) n=174

Q2で、節電に取り組んでいたが、今は若干トーンダウンしている、節電に取り組んでいたが、今は大きくトーンダウンしている、節電に取り組んでいたが、途中から節電しなくなったを選んだ方に質問

	実数	比率
節電生活していたが、やっぱり寒さを我慢できなかったから	103	59.2%
節電生活をして思ったほど省エネに結びつかなかった	44	25.3%
家族全員で節電する必要があるのに協力が得られなかったから	31	17.8%
節電生活は思った以上に面倒だったから	23	13.2%
もらえる節電ポイントが少なかったから	20	11.5%
冬場の電力が逼迫していないようだったから	19	10.9%
政府からの節電要請がトーンダウンしたうように感じたから	15	8.6%
周りの家でも節電しなくなったから	15	8.6%
その他	8	4.6%
わからない	2	1.1%

Q4. この冬の節電対策として取り組んだこと(取り組んでいること)をいくつでもお選びください (MA) n=556

	実数	比率
膝掛けや厚手のソックスなどを使用(=厚着をする)	327	58.8%
できるかぎり温熱効果の高い下着などを住まいでも着用	262	47.1%
エアコンの設定温度を低めに	253	45.5%
家族が集うリビングなどを集中的に暖める	233	41.9%
部屋全体でなく、ピンポイントで暖める暖房機器(=こたつなど)を使用	148	26.6%
使い捨てカイロなどを使用	135	24.3%
暖房器具をできるかぎり省エネタイプのものに取り替えた	84	15.1%
サーキュレーターなどで空気を循環させる	81	14.6%
窓に断熱シートなどを貼り付ける	78	14.0%
家の隙間を隙間テープなどで埋める	76	13.7%
窓のカーテンを厚手な物に取り替え	72	12.9%

リフォームなどで家全体の断熱性を高めた	38	6.8%
断然効果の高いサッシなどに取り替え	37	6.7%
その他	12	2.2%
わからない	12	2.2%

●調査概要

・有効回答:556 サンプル

・調査対象:20歳以上の既婚女性

	実数	比率
20代	112	20.1%
30代	111	20.0%
40代	111	20.0%
50代	111	20.0%
60代以上	111	20.0%
全体	556	100.0%

・調査時期:2023年1月27日から1月29日

・調査地域:全国(沖縄を除く)

【地域】

	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	全体
実数	20	26	234	77	110	35	18	36	556
比率	3.6%	4.7%	42.1%	13.8%	19.8%	6.3%	3.2%	6.5%	100.0%

・調査方法:WEB調査

・調査会社:ジャストシステム

・事前調査:について

本調査を実施する前に「今冬、自宅で節電に取り組んだ人」を抽出するために事前調査を実施し、2,206名から有効回答を得ました。調査時期:2023年1月20日、調査方法、調査会社は本調査と同様です。

◆当社概要

・会社名 株式会社LIXIL住宅研究所

・代表者 代表取締役社長 加嶋 伸彦

・本社所在地 〒141-0033 東京都品川区西品川1-1-1

・URL 【株式会社LIXIL住宅研究所】 <https://www.lixil-jk.co.jp/>



◆LIXIL住宅研究所 概要

住宅及びビル建材・設備機器の製造販売・住宅フランチャイズチェーンの運営など、総合的な住生活関連事業を展開するLIXILの一員です。住宅フランチャイズチェーン事業の運営を担う企業として、アイフルホーム、フィアスホーム、GLホームの3ブランドを展開し、国内最大級の住宅フランチャイズチェーン事業を展開しています。